

原口さんは裁判の傍聴、私の場合は現地の学校をアポなし訪問をちょいちょいしていました。見せてって、エジプトの小学校では、ようきようき、いっちょ日本の文化を教えるやうな流れになり、のちうな-ちうな-の歌を教えたに3w

自問自答

その33

広島市立己斐上中学校 進路通信

令和5年11月27日(月)

発行人：私(←オナ)が音を外した(こ)は

忠実に音を外してうたう(泣)子どもたちが

とても、いとおしかった。ごめんよ、その音程はウソだ



ひと

進学校の空気に息が詰まっていた高校時代、英国に短期留学した。大学生になるとアルバイトでためたお金をもとに世界を旅した。
20代半ばから、自身にとって遠い存在だった国々を訪れるようになる。中東であり、アフリカだった。「現地の人との距離が近く、居心地がいい。日本と海外、『先進国』と『新興国』と、世界を二項対立でとらえてきた自分を見つめ直

129カ国を訪れ、30カ国以上の裁判を傍聴する弁護士

原口 侑子 さん

(朝日新聞 11/20 より)

すきっかけになった」

弁護士となり大手法律事務所に就職したが、2年で飛び出した。2011年、バンングラデシュへ。友人が始めたNGO活動などに1年半携わったあと、2年かけて世界を回った。

旅ブログを書くため、友人の助言で始めた裁判の傍聴は、まずはエチオピアから。アフリカ南東部、マラウイの首都で見た法廷は、大きな庭に柱と屋根だけの風が通る空間で、「青空裁判」と呼ぶのにふさわしかった。

「『当たり前だ』と思ってきたことが当たり前ではない。新鮮な発見の連続だった」。帰国後、アフリカの司法制度調査プロジェクトにも携わった。

9月末、英国へ旅立った。大学院で人類学を学びながら、アフリカでのフィールドワークを通して紛争解決の仕組み、人々の法意識などを研究したいという。「弁護士以前に、バックパッカーとしての属性が自分のアイデンティティーなんです」

文写真 豊秀一

この記事1つで道徳の授業1回分に相当しますなあ。まずは色々な生き方があることを知るの大事。

・「二項対立でとらえてきた自分を見つめ直すきっかけになった。」・「『当たり前だ』と思ってきたことが当たり前ではない。新鮮な発見の連続だった。」この原口さんの思い、みんなにも味わってほしいなあ。

原口さんもきっと、ちょうど前号で書いたボスキャラ「リフジン」による多彩な攻撃を受けまくり自問自答を繰り返したに違いない(笑)。ラスト3行、「弁護士」のところに将来の皆さんの職業名が入り、「バックパッカー」のところにどんな言葉が入るんでしょうね。まっ、ここはそのままでもいいんですけどね(。-)y-

直木賞作家である伊集院 静さんが亡くなった。毎年4月1日に日本経済新聞を買うのがずいぶん楽しみだった。毎年伊集院さんが(サンデーCMで)新・社会人に向けてメッセージをのせている。心打つステキな文章だった。よく学校通信にのせて!

自問自答

その34

発行人: クラスで話したりしてました。
令和5年12月1日(金)

広島市立己斐上中学校 進路通信

来年の4/1 も楽しみにしてたのに、もうあのメッセージが読めないのは残念すぎる! 一応買ってみよう



人任せにするから
こうなるんじゃない(-_-メ)

公立のデモ出願が終わった。チェックし終わった土脇・高見・増尾の気分はひじょ〜に悲しく、そして重たい。

ほぼ全員分を訂正した(;_;)

まったく直さなかったのは2クラス合わせて10人にも満たない。今回は心して読めよ!! 心を鬼にして言うからな。お前ら、人任せにし過ぎなんじゃない。いいか、手続きしたであろう親は悪くないぞ。親にやってもらったお前らの責任じゃ。自分でやったのに「中学校が訂正しましたメール」が届いたなら、それもまたお前の責任じゃ。話を聞いてないんじゃない。

訂正した内容のほぼ9割は「住所の入力」。あれだけ「〇丁目」は漢数字、番地は「〇番〇号」と打つの住民票の記載通り、と言ったよな。さらに見本となるそれぞれの住所プリントまで配ったよな。なのにだ、数字で3丁目だあ、12-2だあ、どういうことや!! あと、番地のとこは〇番〇号だけ! 〇丁目はその上!

あとの1割は、「調整枠」にチェックしてたもの、生まれた年が一年早かった人(すでに16歳やんけ!!) 不必要なマンション名まで入力してたもの(あくまで住民票の記載通りです!), など。

今回の件で私が一番危惧(きぐ、意味は調べろ)しているのは、このまま「人任せ」がクセになり、また、慎重を期する場面なのに、いい加減だったり、「契約書を読めない・読まない」18歳になってしまったりすること。それはつまり「簡単に騙される」ことを意味する。世の中にはなあ、残念ながら悪い人もおるんじゃない。

君たちには幸せで楽しい人生を送ってもらいたいと心から願っている。人を騙したり騙されたり、そんなことで悲しくなる人生じゃなくてな、自分のもっている力を他人のために使う、そんな人生だ。そのためには自分の身を守る力もつけなくちゃならない。「人任せ」にするってことは、その力をつけるチャンスを放棄してるんだぞ。もったいないだろ。Web 出願くらい自分でしなさい。自分でやって訂正された人、もっと慎重にやりなさい。

つい2年前までは願書は鉛筆で薄く下書きをして、先生たちがチェックをして、それからペンで清書をしていた。昨年度から Web で簡単にし出願できることになった。そのことに不満はない。むしろ遅すぎたぐらいだ。ただな、便利さと引き換えに失う力、失いやすい力があるってことは知っておいた方がいい。

(もちろん「便利」で得られることもたくさんあるので、「便利」自体を否定はしない。)

ざっと思いつくだけでも、粘り強さ、協力する力、想像する力、相手を思いやる力、物事を工夫する力、困難を切り拓く力、いくらでも思いつく。もしかしたらこれらの力は、これからの時代、昔ほど必要じゃなくなるのかもしれない。でも個人的には強く思う。失いたくない力だなと。だから私は旅に出る。な〜んで(◇)ゞ